



2026年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月10日

上場会社名 大黒天物産株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2791 URL <http://www.e-dkt.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大賀 昌彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 大賀 友貴 TEL 086-435-1100
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無： 無
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年5月期第3四半期の連結業績（2025年6月1日～2026年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期第3四半期	236,206	9.8	4,261	△41.2	4,369	△42.0	2,700	△43.6
2025年5月期第3四半期	215,071	7.5	7,249	9.3	7,538	11.3	4,785	14.2

(注) 包括利益 2026年5月期第3四半期 2,824百万円 (△41.0%) 2025年5月期第3四半期 4,789百万円 (13.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期第3四半期	197.96	—
2025年5月期第3四半期	343.06	342.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年5月期第3四半期	129,430	60,347	46.5
2025年5月期	116,403	61,064	52.4

(参考) 自己資本 2026年5月期第3四半期 60,228百万円 2025年5月期 60,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年5月期	—	0.00	—	39.00	39.00
2026年5月期	—	0.00	—		
2026年5月期（予想）				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年5月期の連結業績予想（2025年6月1日～2026年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	319,900	9.2	6,700	△31.7	6,900	△31.6	4,400	△35.1	319.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年5月期3Q	14,502,400株	2025年5月期	14,502,400株
② 期末自己株式数	2026年5月期3Q	1,090,907株	2025年5月期	653,507株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年5月期3Q	13,640,592株	2025年5月期3Q	13,950,516株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。尚、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変更があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年6月1日～2026年2月28日）における我が国経済は、景気が緩やかに回復傾向に向かう一方で、主要国における通商政策の影響や中東地域の地政学リスクにより、先行きが不透明な形で推移しました。また、物流コストや最低賃金の引き上げに伴う人件費の増加の影響により、極めて厳しい状況が続いております。

小売業界におきましては、継続する商品価格の値上げによって、消費者の生活防衛意識は高いまま維持されており、消費に対する節約志向も高く、個人消費も伸び悩んでおります。また、各企業においても人件費や物流費など、様々なコスト上昇による販管費の増加が続いており、企業運営を取り巻く環境は引き続き厳しい状況であります。

このような環境の中、当社グループでは、「魅力ある店づくり6項目」（①価格、②品質、③売場、④活気、⑤環境整備、⑥接客）の徹底をスローガンに、お客様にご支持いただける小売業を目指して取り組んでおります。また、お客様に「安くて新鮮で美味しい商品」を提供するべく、ESLP（エブリデイ・セーム・ロープライス）による地域最安値価格を目指すことに加え、自社開発商品の中身を徹底的に「アナライズ」（分析）し改良を重ねた、「高品質・低価格」な商品（D-PRIDE）を前面に打ち出して展開するほか、自社物流の構築による物流コスト削減、産地からの最短定温物流実現による生鮮食品の鮮度向上を推進しております。さらに成長戦略として、高速多店舗化出店を掲げ、店舗数の増加によって中国及び関西の両センターの稼働率を上げることでコスト削減を実現しております。当第3四半期連結累計期間において、岡山県、三重県、福岡県に3店舗、山口県、兵庫県、滋賀県、和歌山県、愛媛県、徳島県、岐阜県、新潟県、熊本県にそれぞれ1店舗の計18店舗を出店いたしました。建築コストの増加により従来よりも出店にかかる費用が増加し、販管費の増加に影響を与える中、新規出店のうち6店舗を100%センター供給店舗フォーマット（SF0店舗）での出店とすることで従来の店舗と比べて、出店コストと店舗運営コストの削減を実現しております。また、既存店舗の活性化を図るために唐人店の改装を実施し、店舗フォーマットをザ・大黒天に変更いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,362億6百万円（前年同期比9.8%増）、経常利益は43億6千9百万円（前年同期比42.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億円（前年同期比43.6%減）となりました。

なお、当社グループのセグメントの経営成績につきましては、小売事業以外に、卸売事業、飲食事業等を営んでおりますが、重要性が乏しいため記載を省略しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、256億1千万円となり、前連結会計年度末に比べ4億1千万円増加いたしました。その主たる変動要因は、その他の流動資産の減少（57億6千8百万円から54億2千1百万円へ3億4千6百万円減少）などに対し、商品及び製品の増加（98億4千7百万円から106億円へ7億5千3百万円増加）などによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、1,038億1千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ126億1千6百万円増加いたしました。その主たる変動要因は、有形固定資産の増加（766億2百万円から890億1千2百万円へ124億1千万円増加）、投資その他の資産の増加（143億8千万円から146億4千3百万円へ2億6千3百万円増加）などによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、402億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ59億8千6百万円減少いたしました。その主たる変動要因は、短期借入金の増加（110億6千1百万円から126億7千万円へ16億8百万円増加）などに対し、支払手形及び買掛金の減少（202億5百万円から174億3千8百万円へ27億6千6百万円減少）、未払法人税等の減少（21億7千6百万円から9千6百万円へ20億8千万円減少）、賞与引当金の減少（6億9千4百万円から4億7百万円へ2億8千7百万円減少）、その他の流動負債の減少（120億5千2百万円から95億4千5百万円へ25億6百万円減少）によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、288億7千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ197億3千万円増加いたしました。その主たる変動要因は、長期借入金の増加（39億4千5百万円から234億2千1百万円へ194億7千5百万円増加）、資産除去債務の増加（37億6千2百万円から40億4千2百万円へ2億7千9百万円増加）などによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、603億4千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億1千6百万円減少いたしました。その主たる変動要因は、利益剰余金の増加（588億4千万円から610億円へ21億6千万円増加）などに対し、自己株式の増加による減少（16億8千5百万円から46億8千5百万円へ30億円の増加）によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月期通期の業績予想につきましては、概ね計画どおりに推移しており、連結、個別ともに2026年1月14日公表の業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,488	8,421
受取手形及び売掛金	154	129
商品及び製品	9,847	10,600
仕掛品	182	185
原材料及び貯蔵品	758	851
その他	5,768	5,421
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	25,200	25,610
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	48,963	54,550
土地	13,458	17,417
その他(純額)	14,180	17,044
有形固定資産合計	76,602	89,012
無形固定資産	219	162
投資その他の資産		
建設協力金	1,294	1,191
差入保証金	5,674	5,813
その他	7,541	7,743
貸倒引当金	△130	△104
投資その他の資産合計	14,380	14,643
固定資産合計	91,202	103,819
資産合計	116,403	129,430

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,205	17,438
短期借入金	11,061	12,670
未払法人税等	2,176	96
賞与引当金	694	407
資産除去債務	—	45
その他	12,052	9,545
流動負債合計	46,190	40,204
固定負債		
長期借入金	3,945	23,421
退職給付に係る負債	49	52
資産除去債務	3,762	4,042
その他	1,390	1,362
固定負債合計	9,148	28,878
負債合計	55,339	69,082
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,760	1,760
資本剰余金	1,921	1,921
利益剰余金	58,840	61,000
自己株式	△1,685	△4,685
株主資本合計	60,837	59,996
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	109	231
その他の包括利益累計額合計	109	231
非支配株主持分	117	119
純資産合計	61,064	60,347
負債純資産合計	116,403	129,430

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
売上高	215,071	236,206
売上原価	164,539	181,324
売上総利益	50,531	54,882
販売費及び一般管理費	43,281	50,620
営業利益	7,249	4,261
営業外収益		
受取利息	23	31
受取配当金	4	4
受取賃貸料	98	130
受取保険金	54	54
助成金収入	109	88
その他	103	83
営業外収益合計	393	391
営業外費用		
支払利息	34	175
賃貸費用	47	46
貸倒引当金繰入額	0	0
固定資産処分損	19	—
その他	2	60
営業外費用合計	104	282
経常利益	7,538	4,369
特別利益		
受取保険金	—	107
特別利益合計	—	107
特別損失		
災害による損失	—	79
特別損失合計	—	79
税金等調整前四半期純利益	7,538	4,397
法人税、住民税及び事業税	2,608	1,808
法人税等調整額	142	△113
法人税等合計	2,750	1,695
四半期純利益	4,788	2,702
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,785	2,700

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
四半期純利益	4,788	2,702
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	121
その他の包括利益合計	1	121
四半期包括利益	4,789	2,824
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,787	2,821
非支配株主に係る四半期包括利益	2	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループにおける報告セグメントは小売事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変更があった場合の注記)

当社は、2025年10月21日開催の取締役会決議に基づき、自己株式437,300株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2,999百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が4,685百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
減価償却費	5,577百万円	6,699百万円